



功績概要

令和5年7月22日23時45分頃、北野久司さんは仕事を終え帰宅途中の乗用車内で、胸痛を訴え、その後意識が朦朧となりました。同乗していた石松貴文さんと西田侑平さんは119番通報、北野さんへの観察を行い、心肺停止状態であると判断。二人が救急隊到着までの間必死に心肺蘇生を続けたことで、心肺停止となった北野さんの尊い命が救われました。これこそが「もしあなたが『鎖の弱い輪』にならなければ、あなたは命を救える」という「救命の連鎖」であると思います。このように救命の連鎖につながったことによって、約2カ月の療養を経て、北野さんは後遺症を残すことなく職場へ復帰することができました。

石松貴文さん、西田侑平さん、二人の冷静な状況判断と勇気ある行動に敬意を表して、旭消防署長から感謝状を贈呈しました。



救急安心センターおおさか だより

外国語対応病院の調べ方について

新型コロナウイルスが昨年の5月に5類感染症へ移行し、大きく減少していた訪日外国人旅行者数は現在、回復基調にあり、新型コロナウイルス流行前の令和元年（2019年）を上回ったとの報道もあります。

訪日外国人旅行者数の「もどり」を受け、救急安心センターおおさか（以下、「当センター」）にも、外国人からの医療相談や病院案内を希望するお問い合わせが増加傾向にあります。当センターでは英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語の5カ国語に対応した3者通話サービスを、通訳会社を介して提供しております。「今ある症状の適切な受診科目がわからない」または「病院に行くかどうか迷っている」とお申し出の方には医療相談を行い、相談の結果、医療機関へ受診する必要がある場合は救急病院を数件ご案内しています。

しかしながら、当センターには外国語対応可能な病院についての情報がなく、ご案内した救急病院が外国語対応できない場合もあります。そのような場合は、大阪府内の外国語対応可能な病院・診療所などを外国語で検索できるウェブサイトに「おおさかメディカルネット」を、救急病院のご案内とあわせて紹介する場合があります。

慣れない場所で急な病気や怪我をしたら…と考えると不安なものです。訪日外国人旅行者の皆さんに不安なく楽しく過ごしていただけるよう、外国語対応の病院をお探しの場合は「おおさかメディカルネット」をご活用いただき、病院にいくかどうか・救急車を呼ぶかどうか迷ったときは、「救急安心センターおおさか」をご利用ください。



おおさかメディカルネット

落語 DE 火の用心

えー、皆さま、今月も真っ先にお読みいただき、ありがとうございます。たく御礼申しあげます。「そなえ亭恐妻」でございます。さて、一年間連載させていただいたこの「落語DE火の用心」。数ある「上方落語」の演目の中から、職員の方々が「へえ、管内のあの場所が...」「その辺りって、いつも巡回で通ってるやん」と思わず声が出てしまうくらい身近で馴染みのある地名や市内の場所が登場するお話を紹介してまいりましたが、いかがでしたでしょうか？落語ファンの方はもとより、落語の世界へ飛び込むのに二の足を踏んでいる方にも楽しんでいただけたのであれば幸いです。

今月のお話し 『百年目』

さて、最終回にご紹介するのは「百年目」というお話しで、『桜ノ宮』が舞台です。船場のある商家。今日も店の者に小言を並べている堅物で有名な番頭の次兵衛ですが、本当はなかなかの遊び人で、得意先廻りに行く店の者に嘘をついて出かけますと、着物を預けている駄菓子屋で粋な着物に着替え、太鼓持ちの茂八を引き連れて大川へと向かい、屋形船で芸者をあけてのどんちゃん騒ぎでございます。満開の桜とそれを愛でる人々でにぎわう桜ノ宮で屋形船を下りたところ、なんと、店の大旦那も花見に来ていたのでさあ大変…。

まだまだ朝晩肌寒く感じることもありますが、日中は、弥生の空が美しく晴れ渡り、いよいよ春らしくなりました。春と言えば「花見」。天満橋から桜ノ宮までの川沿いに咲き誇る桜並木や造幣局の「桜の通り抜け」は、花見の名所として有名ですよ。今回ご紹介した「百年目」というお話しは、遊び人の番頭さん、屋形船に乗って花見なんてなんとも優雅



「水都大阪コンソーシアム」より

水都大阪コンソーシアム 写真ギャラリー



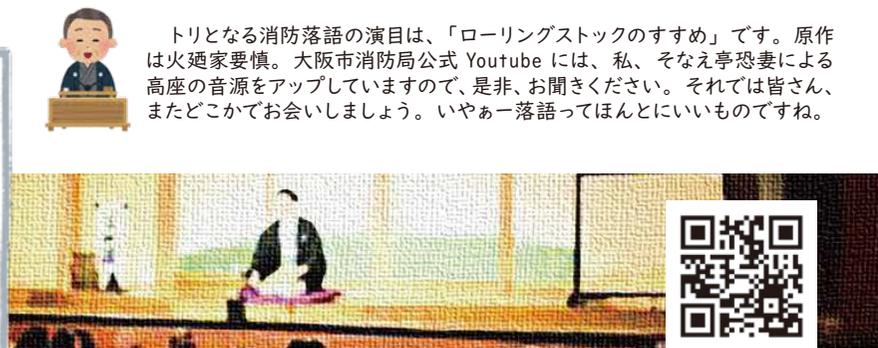
トリとなる消防落語の演目は、「ローリングストックのすすめ」です。原作は火廻家要慎。大阪市消防局公式 Youtube には、私、そなえ亭恐妻による高座の音源をアップしていますので、是非、お聞きください。それでは皆さん、またどこかでお会いしましょう。いやあー落語ってほんとにいいものですね。

プチ上方言葉講座

「いらち」

【意味】せっかち・気が短い

【使用例】あんなあ、ゆり絵はん。あんたはんはえろうイラチでおますけど、あせったらあきまへん。



現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中から、救命士だけではなく**災害現場で活動する全ての隊員**が知識として身につけておくべき内容を紹介していきます。今月は難しくないなので、よく問題を読んで考えれば正解できると思いますよ！では、現場での対応をイメージしつつ、早速解いてみましょう！

第46回（令和5年3月）D問題

20歳の男性。乗用車運転中、側方からの衝突で受傷し、通行人が救急要請した。救急隊到着時観察所見：意識 JCS10。呼吸数 24/分。脈拍 72/分。整。血圧 110/70mmHg。体温 35.5°C。SpO₂ 値 98%（室内気）。両上肢に変形はないがしびれを訴えている。首を右に傾けており、頸椎を中間位にしようとすると痛がる。

この傷病者に対する処置で適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1. 下肢は挙上して固定する。
- 2. 両上肢をシーネ固定する。
- 3. バックボードの使用は禁忌である。
- 4. 頸部についてはそのままの状態固定する。
- 5. 手動的に頭部を十分引っ張りながら中間位にする。

ヒントレベル

●「ひっかけ問題」ではないので常識的に考えれば・・・

解答・解説

解答 4. 頸部についてはそのままの状態固定する。

両上肢のしびれ、頸部の偏位や痛みから、頸髄の（不全）損傷や頸椎の椎間関節脱臼を疑う。手で整復すると頸髄損傷がさらに悪化するおそれがあるため、**頸部を右に傾けたまま頭部を保持し、**【←救急隊以外の隊員も知っておくべきポイント】ネックカラーやヘッドイモバイザーは装着せず、毛布などを利用して頸椎を動かないようにしてバックボードに固定する。

脊髄損傷の場合は仰臥位で搬送する（下肢を挙上して固定する必要はない）。また、上肢に変形はない（シーネ固定する必要はない）。



用語の説明

- 脊柱
脊椎（頸椎、胸椎、腰椎、仙骨）が連なってできており、脊柱管の中に脊髄が通っている。
- 脊髄
頸髄、胸髄、腰髄、仙髄からなり、それぞれの節から計 31 対の脊髄神経が出ている。
- 脊椎損傷・脊髄損傷
脊椎の骨折や脱臼を脊椎損傷と呼び、脊髄が損傷された状態を脊髄損傷と呼ぶ。これらは同時に発生することもある。脊椎損傷の多くは数か月で回復するが、脊髄損傷に伴う機能障害（神経障害）の多くは永続的に残る。
第3頸髄節より上位の脊髄損傷ではほぼすべての呼吸筋が麻痺する（呼吸停止になる）。第3～5頸髄節以下の頸髄損傷では、横隔膜の機能が温存されるが、肋間筋が麻痺する（腹式呼吸になる）。

（参考・引用 株式会社へるす出版「第46回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」）

久保孝ペイント株式会社

久保孝ペイント株式会社は、1924年（大正13年）創業の東淀川区に本社を置く総合塗料メーカーで、粉体塗料をメインとし、塗料の製造・販売を通じて社会に貢献することを目標とされています。「人間（ひと）企業をめぐして」をモットーに、地球環境に配慮した、有機溶剤を使用しない粉体塗料をいち早く市場に提供し、この業界におけるパイオニアとして普及発展を推進し、製品開発を続けてこられた企業です。



東淀川自衛消防協議会の前身である東淀川自衛消防研究会の発足当時から参画し、長年東淀川自衛消防協議会の

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
加藤 圭一

弊社では、東淀川消防署のご協力の下、定期的な消防訓練による社員の防火・防災意識の向上と、自衛消防競技会への参加等による自衛消防隊の技術向上を通じて、防災体制の強化に努めております。



女性防火クラブだより

城東区

城東区は、人口密度が大阪市内の行政区中、第2位で推移しています。近年、若い世代が増加傾向にあり、子育て世代からもかなり人気が高く、幅広い年齢層が暮らす、活気に満ちあふれた住みやすい行政区です。

過去の災害についての歴史を紐解くと、地震、大雨等の災害により、洪水や浸水が起こっています。寝屋川、第2寝屋川など多くの河川が流れ、低い土地も存在することから、今後同様の被害が懸念されています。

このようななか、多くの区民が暮らす城東区を守るべく、矢田貝委員長を筆頭に、16連合の城東区女性防火クラブ推進委員が協力し、地域活動



協議会の様々な活動、行事を牽引、防災に関する多彩かつ積極的な取り組みを行っています。昨年まではコロナ禍で活動を自粛していましたが、今年度は、合同防火訪問、秋の火災予防運動に伴う合同街頭広報、バス研修、防災訓練など、城東消防署と協力して活動を行っています。今後起こり得る大災害に立ち向かい、安全、安心な城東区を守るため、引き続き取り組んでまいります。

火災予防運動オープニングイベントの企画・立案

お仕事その1

春と秋の年2回、全国一斉で実施される「火災予防運動」に伴い「火災予防運動オープニングイベント」を開催しています。大きな商業施設など市民が多数集まる場所で知名度のあるゲストを招待して一日消防署長任命式を行ったり、「消防ふれあいコーナー」を設けるなど、火災予防に関するイベントを開催し、広く市民に「火災予防」の普及啓発を図ります。

■令和5年春の火災予防運動オープニングイベント



令和5年2月26日に、JR大阪駅時空の広場で実施した春の予防運動オープニングイベントでは、大阪公立大学様および北消防署の協力で、「消防職員フアッションショー」や「消防装備着装体験」など、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした消防ふれあいコーナーを設け、好評でした。

■令和5年秋の火災予防運動オープニングイベント



令和5年11月9日に、あべのハルカス近鉄本店・Hoopで開催した秋の火災予防運動オープニングイベントでは、防災士の資格を持つタレントである「さばいどる かほなん」さんをゲストにお迎えし、一日消防署長任命式を開催しました。ステージでは、「さばいどる かほなん」さんのトークショーも行われ、来場した市民の皆さまにむけて、日頃からの火災予防の大切さについて話をさせていただきました。

■実はこんなことも……。火災予防運動にあわせた啓発活動



関西では誰もが知っている「551の豚まん」。年に2回の火災予防運動週間に、紙箱や紙袋が大阪市消防局仕様のになっているのを知っていましたか？株式会社蓬萊様のご協力で行われているこの事業も、予防課地域防災が担当しています！担当者が定期的な協議を重ねながら現在まで継続してきています。令和5年秋からは紙袋のデザインを一新し、はしご車仕様となりました。

防火作品の選考

お仕事その2

令和5年度大阪市防火標語入賞作品一覧

賞	標語	氏名(敬称略)
特選	いのち輝く 未来を守ろう 火の用心	川崎 梓
入選	使ったら みんなで言うてな「火い消した？」	奥野 みか
	消したかな？ 不安な心 すぐ消火	亀井 透
佳作	まっええか〜 あかんで！確認 今すぐに	愛甲 浩一郎
	みやくみやくと続くなにわの 火の用心	飯田 幸子
	広げよう ナニワのみんなで 防火の輪	杉山 裕飛
	ちゃんと見た？ 火災は人災 あんた次第	藤井 敦史
	消えたやろ？ 心の油断 火事の元	森 享子

■防火標語

予防課地域防災担当では、大阪市に在住・在学・在勤している方々を対象に防火標語を募集しています。令和5年度は総応募数617点から、数々の選考を重ね特選1点、入選2点、佳作5点を選出しました。

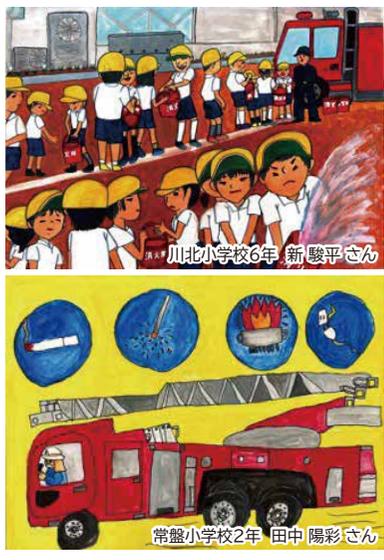
■防火・防災図画

また、大阪市内の小学校に在学する児童を対象に、「火事を消す、火災を予防するなど消防に関すること、日頃から火災や地震など災害に備えている様子」をテーマに、防火・防災図画を募集しています。令和5年度は総応募数4217点の中から、優秀32点、佳作90点、努力賞139点を選出しました。



■大阪市防火ポスター

消防署以外にも市内の公共施設や事業所に掲示していただいている大阪市防火ポスター。今年度は大阪市内の5校のデザイン系専門学校より81点の応募をいただき、選考の結果、HAL大阪 岡本 芽依さんのデザインに決定しました。



阿倍野防災センター関連

お仕事その3

■大阪市立阿倍野防災センター あべのタスカル 運用管理他



大阪市立阿倍野防災センターでは、防災に関する体験学習や研修・訓練を行う施設として、平成16年に開館してから現在まで、220万人以上の方に来館していただいております。本施設の運営については、公の施設を民間が運営する事ができる「指定管理者制度」という制度を導入しています。この制度は、多様化する市民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、民間事業者が持つ経営的・経験的・能力やノウハウを幅広く活用して、来館者へのサービスのアップグレードや、経費の縮減を目的に大阪市が導入している制度になります。(長居陸上競技場などこの制度を導入しています) 地域防災担当では、この指定管理者の選定事務、運営に係る監督、調整や施設の整備等を行いながら、指定管理者と一緒に新しい体験学習を考えたり、新コースを新設したりしています。

他にも、火災予防普及啓発イベントの企画・立案をしたり、様々な業務に従事しています。これらのことでお困りごとがあれば、予防課地域防災担当まで連絡ください。



大阪市消防局における受託研修レポート

津市消防本部 消防総務課 消防政策担当主幹 平子 泰史

大阪市消防局では、大阪市消防局受託研修実施要領に基づき、他消防本部から研修受講を希望する職員を受け入れ、各課所において受託研修を実施しています。このたび企画課（広報）では、三重県の津市消防本部の消防司令平子泰史氏が2週間の短期研修を受講されました。

研修内容と所感を平子氏が綴っていただきましたので、本コーナーにて紹介します。

研修スケジュール
令和5年11月13日（月）～同年11月24日（金）

研修内容

- ・ 広報業務…消防広報の種類、プレスリリース要領、災害報道広報要領、広報イベントの企画立案等
- ・ 広聴業務…大阪市の広聴広報体制、広聴対応時の注意事項等



津市消防本部にて



大阪市西区にある大阪市消防局前にて

津市消防本部では、今年度から「広報戦略」を定め、これまで課題としていた「伝わる広報」、「即時性、拡散性のある広報」の実現に向けて各種取組を進めているところです。その一環として、広報に携わる職員の育成にも注力しており、わかりやすく伝わる広報を戦略的かつ政策的に実践されている大阪市消防局で必要な技術・手法等を学ぶことはできないかと考え、「広報広聴研修」の受講を依頼したところ、本研修の機会を頂けることになりました。

心から感謝申し上げますとともに、当該研修を通じて得た貴重な体験、充実した時間を借越ではございますが私の所感として、寄稿させていただきます。

一 はじめに

二 研修内容について

研修内容は、大阪市消防局企画部企画課において日々行っている広報・広聴業務を一緒に体験させていただくOJT形式によるものが主で、機関誌である「大阪消防」の編集会議への参加からはじまり、市長定例記者会見での必要な調整、令和5年度大阪市総合防災訓練実動訓練などの取材、テレビ局、新聞社等から受ける取材や収録への対応、「OBCラジオまつり」における広報活動にかかる一連の準備や当日の運営など、多岐にわたる広報業務を体験させていただきました。



11月20日 高度専門教育訓練センターにて JICA救急救助研修の取材対応

また、このほかにも大阪市消防局が進めている民間企業 関係団体等との広報に係る連携状況やその手法等についても丁寧に説明していただき、広報業務の基礎から応用的な事柄まで非常に内容の濃い研修となりました。

中でも、当消防本部が経験する機会が少ない、テレビの生放送番組収録への対応が印象的で、収録当日に必要な調整だけでなく、生放送であるために、その進行途上で発生する様々な調整事項等を予め想定しておくなど、参考となる内容はかなりでした。



11月15日 テレビ番組(関西テレビ)収録

さらに、大阪市消防局が数十年連続しているラジオ生番組を担当させていただいた際は、緊張のあまり上手く伝達できなかったかばかりかもしれませんが、津市消防本部からの研修生として紹介していただき、大阪市消防局職員に成り代わり火災予防について広報ができたことは、一生の思い出となりました。

三 仕事（広報）に対するマインド

今回の研修を通じて特に感じたことは、大阪市消防局の各課係長級職員（消防司令）の志が高かったことです。大阪市消防局に対する取材依頼は数が多いうえ、今日、連絡を受けて明日には収録など、突発的な対応が求められることが多々ありましたが、対応する各係長は、担当業務で多忙な中でも嫌な顔ひとつせず市民のために、加えて組織の看板を背負っているというマインドで誰もが前向きに取り組んでいる姿がありました。



11月24日 航空隊を見学(八尾空港)

さらに企画部の各係長の皆様においては、研修中の私を見つけては率先して自身の担当業務を説明することも、大阪市消防局としての先進的な取組について出し惜しみすることなく紹介してくださるなど、私自身が地元を持ち帰り参考とするには余りある研修となったことはもとより、この辺りのマインドについても見習う必要があると強く感じたところです。

四 大阪市消防局を支えるのは「人の力」

私に携わっていただいた大阪市消防局の職員は、皆さん優しく、熱心で、そこには常にウエルカムの姿勢があり、研修とはいえ他市の組織で過ごす上であらゆる生じるストレスを感じることはありませんでした。消防職員として我々が一番大切にしていかなければならない、「市民を大切に思う気持ち」、「仲間を大切に尊重する気持ち」等の人と人の繋がりを自然体で大切にできている組織風土を大阪市消防局から強く感じたところです。

消防力の三要素には人員、機械、水利がありますが、大阪市消防局は巨大な消防組織でありながらも、特にこの「人の力」を重要視していることで、今日の発展があることを改めて確認させていただきました。



11月13日 指令情報センターを見学

五 おわりに

大阪市消防局は、私の組織と比べて予算面、人員面等において比較にならないくらい大きな組織ですが、それ以前に各係長のマインドに大きな差があり、OBCラジオまつりでの消防用語の取組に表れているように、幹部職員が率先して汗をかき姿もありました。

当該研修を通じて広報とは、お金や人員を費やすのではなく、「消防として市民に今、何を伝えるべきであるか」を組織全体が同じ方向を向き、志を高く発信していくことが重要であることを学ばせていただきました。

今後は、研修中に教えていただきました当消防局の先進的な取組や技術的な内容、そして大切なマインドを余すことなく、当消防本部の広報業務に反映させていきたいと思っております。



11月23日 OBCラジオまつり(大阪城公園)に参加した 大阪市消防局の皆さんと

津市消防本部公式チャンネル



Instagram



X (旧Twitter)



YouTube

アニマル環状線

～我が家の癒しをおすそ分け～



まもなく4歳の誕生日を迎える我が家の家族、トイプードルのラブリを紹介します。小学生の3人の子供たちに鍛えられ、少々のことでは動じないマイペースな性格です。

ネコ派の妻が一目惚れしトントン拍子に家族の一員として迎えることとなり、甘やかす妻、厳しく躾ける私、そんな私に対して怒る妻…このような関係性なのですが、なぜか私にべったりです。家では常にくっついてまわり、寝るときは必ず私の腕枕と決まっています。

そんなラブリが唯一、私に向かって吠えてくることがあります。それは私が子供たちを叱りつけるときです。

私と子供の間割って入り、「怒ったらアカン」と言わんばかりに吠えてくるのです。そんな姿を見ると、ついつい子供たちを怒る気持ちも薄れてしまいます。ただ、吠えるラブリに注意をすると部屋の隅っこに走って逃げ、ブルブルと震えています(笑)。そんなラブリが、今日も我が家に癒しと笑顔を与えてくれています。



住之江消防署 東 聡志



親睦会だより

大阪市消防職員親睦会

第42回五都市消防柔道大会個人戦準優勝！ (令和5年11月20日 福岡武道館)

コロナ禍で過去3年中断していた五都市消防柔道大会が4年ぶりに福岡市で開催されました。団体戦は東京、千葉、福岡、熊本、大阪の五都市による総当たりで、熱闘が繰り広げられました。

今大会から同じ府県内の本部であれば団体戦に出場できるというルール改正が行われたため、大阪市チームには枚方寝屋川消防組合の選手が仲間として加わりました。一致団結して奮闘するも、それぞれの試合であと一歩届かず…悔しい結果となりました。

個人戦は五都市にとらわれないオープン参加のトーナメントで、初出場の秋山選手(淀川消防署)が並み居る強豪を相手に勝ち進み、当局初の準優勝という快挙を成し遂げ、大いに沸いたところです。



第42回五都市消防柔道大会 団体

- 優勝 東京消防庁 (4勝)
- 準優勝 熊本市消防局 (3勝1敗)
- 第3位 福岡市消防局 (2勝2敗)
- 第4位 千葉市消防局 (3敗1分)
- 第4位 大阪市消防局 (3敗1分)



個人戦で準優勝の栄冠を勝ち取った秋山選手の表彰風景

柔道を通じての他都市との交流に興味のある方、柔道そのものにも興味のある方は、経験、未経験を問わず、事務局(福島・川勝)までお気軽にお問い合わせください。



編集後記

SNSやってます



表紙のウラ側



令和6年1月27日(土)、石川県輪島市市ノ瀬町で安否不明者の捜索活動を行う緊急消防援助隊を撮影しました。

「火事ですか、救急ですか？」一年余り前、消防と救急が同じ「119」であることに改めて気づくほど、何も知らないまま本誌の編集に加わった。鳴り響く救急のサイレンは、深夜に指令室で電話を受け、救急車を走らせ、救命に向かう複数の職員がいるということ。これまで見過ごしていた風景が意味を持ち始めると、災害現場や猛火の中だけでない多岐にわたる消防局の活動に従事する職員の皆に「なぜそこまでできるのか」と問いかけずにはいられなかった。建ち並ぶ店舗の一軒一軒を回り、火災予防をお願いする職員、卒業後もビル解体と聞くと消防訓練への利用に尽力してしまうOB…。

「けど、ほっとけんやろ」返ってきた答えは一樣だった。多分、それが消防人なのだ。

継承されるべきはそんな消防人の心意気。そしてその継承こそが、大阪消防誌の存在理由であるべきだと思う。17ヵ月の間、ありがとうございました。(K)